令和５年度版

豊田市森づくり白書

豊田市

＝表紙の写真＝

間伐作業を疑似体験できる体験型森林ジオラマ（とよた森づくり月間イベント「森 Thank You」にて）

令和５年度版

豊田市森づくり白書

この報告書は、豊田市の森林の状況や豊田市が行った森づくり施策等について、令和５年度の実績をまとめたもので、豊田市森づくり条例第19条の規定に基づき、豊田市が毎年公表するものです。

豊田市森づくり条例

（年次報告書）

第19条　市長は、森林の状況、森づくり基本計画に基づき実施された施策の状況等について、年次報告書を作成し、これを公表するものとする。

目　　次

第１章　施策体系と具体的な取り組み----------1
Ⅰ　公益的機能が発揮される森づくり[基本理念1]----------1
１　過密人工林の健全化----------1
（1）間伐候補地の集約----------1
（2）間伐の推進----------2
２　持続可能な森づくりに向けた仕組みの整備----------4
（1）目指す森林の姿の再検討----------4
（2）森林管理の在り方の検討----------5
３　森林情報基盤の整備----------6
（1）森林に関する情報の一元化----------6
（2）森林の現況把握----------6
Ⅱ　木材の循環利用を進める森づくり[基本理念2]----------7
１　経済と保全のバランスが取れた木材の生産----------7
（1）利用間伐適地での施業の促進----------7
（2）林地保全を考慮した作業システムの構築----------7
２　効率的な林業用路網の管理と整備----------8
（1）林道の効率的な維持管理----------8
（2）作業道を中心とした効率的な路網整備----------8
３　地域材の流通と利用促進----------9
（1）原木流通量の増加と安定化----------9
（2）地域材の利用促進----------9
Ⅲ　地域づくりと一体となった森づくり[基本理念3]----------12
１　山村振興と森づくりとの融合----------12
（1）地域づくりにおける森林の活用----------12
（2）森林資源を活用した地域産業の振興----------12
Ⅳ　人材育成と共働による森づくり[基本理念4]----------13
１　森づくり人材の確保・育成----------13
（1）森林作業員の確保・育成----------13
（2）森づくりを推進する人材の確保・育成----------13
２　森づくりへの市民理解の醸成----------14
（1）森林環境教育等の普及啓発活動のさらなる推進----------14
３　共働による森づくりの推進----------16
（1）市民及び企業による森づくりの推進----------16
（2）企業・団体の森づくりのフィールド支援----------17

第２章　その他の業務----------18
Ⅰ　森林法に係る各種業務----------18
1　伐採及び伐採後の造林の届出書の受理----------18
2　森林の土地の所有者届出書の受理----------18
Ⅱ　森林課所管の土地・建物の管理----------18
1　豊田市森林会館の管理----------18
2　市有林の管理----------18
Ⅲ　「とよた森づくり委員会」の開催----------19
Ⅳ　広報業務----------20
1　講演、視察受入等の森づくり推進活動----------20
2　森林環境譲与税を活用した取組----------21
第３章　決算----------22
参考----------23
Ⅰ　豊田市における森林・林業の現況----------23
1　豊田市の森林の現状（令和5年度）----------23
2　木材価格の変化と木材生産量----------25
Ⅱ　森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状----------26
1　組織----------26
2　事業活動----------27
Ⅲ　令和5年度の産業部森林課の組織と主な業務----------28
付表一覧----------29～

利用される方へ

１．H17、H18、…… R4、R5 は、それぞれ年度を表します。
２．表中の時点は令和6年3月31日現在及び各年度末の数値を記載しました。
３．事業量の数値は、四捨五入していますので、内訳と計は必ずしも一致しないことがあります。
４．表中符号の用法は次のとおりです。
　「０」：四捨五入後単位未満、「－」：該当数字なし、「…」：不明

第1章　施策体系と具体的な取り組み

令和5年度（以下「当年度」）は、「豊田市森づくり条例」の施行から16年目、平成30年3月に策定した「新・豊田市100年の森づくり構想」（以下「新・森づくり構想」）から6年目、令和5年3月に策定した「第4次森づくり基本計画」（以下「第4次計画」）の事業期間の初年度にあたります。

第4次計画では新・森づくり構想に掲げる4つの基本理念に基づき10施策を設定し、公益的機能を重視した持続可能な森づくりの実現に向けた施策を実施しています。

Ⅰ 公益的機能が発揮される森づくり[基本理念 1]

1　過密人工林の健全化

（1）間伐候補地の集約

間伐の候補地の集約（以下「集約化」）は、間伐等の森林整備を効率的に実施するための事業で、過密人工林の健全化に大きく寄与しています。本市では平成19年度から地域森づくり会議方式の団地化を中心に年間1,100haのペースで集約化を進めています。今後も、集約化を推進し、間伐により過密人工林の一掃を図ります。

①　地域森づくり会議方式による団地化の推進

団地化については、大字ごとの森林所有者から構成される地域森づくり会議と本市と豊田森林組合の三者による「団地間伐促進チーム」が連携して、森林の境界の明確化や人工林面積の測量、現地調査を行い、林分ごとの今後の施業計画などを定めた団地計画を策定しています。

当年度においては、新たに2つの地域森づくり会議が設立され、団地計画の認定については、39団地1,221.20haとなりました（付表1、付表2参照）。

今後は、当初に団地認定した人工林の2回目の間伐が必要になってきており、新規事業地と並行して施業の検討をしていきます。

〈令和5年度に設立された地域森づくり会議〉　（単位：人）

地区	名称	構成員数	設立年月日	会議の区域
小原	市場地域森づくり会議	17	R5.8.7	市場町
藤岡	折平地域森づくり会議	13	R6.1.20	折平町

〈令和5年度に認定された団地〉　（単位：団地・ha）

項目	豊田	小原・藤岡	足助	下山	旭	稲武	合計
団地数	0	2	10	10	6	11	39
面　積	34.82	66.89	264.17	287.00	171.03	297.29	1,121.20

②　あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）等の候補地とりまとめ業務

本市では、愛知県から間伐事業候補地のとりまとめ業務を受託しています。当年度においては、「あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）」の候補地350.63ha、「保安林本数調整伐事業」の候補地41.08haのとりまとめを行いました。なお、これら候補地は、地域森づくり会議方式によりとりまとめられたものの一部に含まれます（付表3参照）。

③　水道水源特別区域森づくり事業の候補地とりまとめ業務

矢作ダム周辺の左岸を水道水源の重要エリアに指定し、水道水源林として保全するため、水道水源特別区域森づくり事業を実施しています。なお、当区域は、所有者が地元に住んでいない等の理由により、森林の境界の明確化が困難であるため、とりまとめ対象区域の全所有者から間伐の同意を得る「一括化」方式を採用しています。当年度については、小滝野町及び牛地町（旭地区）において実施し、23.83haを集約化し、間伐を実施しました。

④　森林経営計画の認定状況

森林経営計画は、森林経営を受託した者等が一体的なまとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護について森林法第11条の規定に基づき作成する計画です。当年度は団地化した箇所の一部及び県有林等の一部の施業計画118.24haを森林経営計画として新たに認定しました（付表4参照）。

（2）間伐の推進

①　ステージごとの間伐実施状況の把握

「第3次森づくり基本計画」（以下「第3次計画」）までは年間、間伐実施面積を指標としていましたが、間伐が進み、過密ステージにある人工林が減少してきたことから、第4次計画からはステージごとの間伐状況を把握し、2032年の過密ステージ解消に向けて、計画的に進捗管理していくこととしています。今年度は、過密ステージを203ha間伐し、過密ステージの目標に対しての達成率は97%となりました。

〈ステージごとの状況推移（令和5年度）〉　（単位：ha）

年度	R3	R4	R5	
	基準値	実績	目標	実績
過密ステージ	3,300	3,083	2,799	2,880
移行ステージ	9,900	9,731	9,394	9,511
健全ステージ	13,800	14,187	14,807	14,609
合計	27,000			

②　間伐の推進

間伐事業においては、市単独事業のほか国・県・矢作川水源基金等の様々な事業があり、森林の状況に応じて各事業を活用して間伐を実施しています。当年度における市内の私有林人工林の間伐面積は合計866.15haとなり、前年度の実績879.62haと比較して13.47ha減少しました。

間伐面積が減少した理由としては、森林作業員の不足や道路沿いなど手間のかかる場所での間伐が増加したほか、間伐が進んだことによりまとまった過密人工林が減少してきたこと等が挙げられます。

〈事業別の間伐実施面積（令和5年度）〉　（単位：ha）

作業種	保安林本数調整伐	あいち森と緑づくり	間伐促進事業等			矢作川水源基金	水源環境保全林整備	水道水源特別区域森づくり	その他	合計
			市単独	水道水源	国県補助					
切置き	48.16	317.91	74.31	86.08	–	83.56	19.31	23.83	28.02	681.18
利用	–	–	5.10	–	173.07	6.80	–	–	–	184.97
合計	48.16	317.91	79.41	86.08	173.07	90.36	19.31	23.83	28.02	866.15

注1　年度別の値は付表5参照。
2　市間伐補助事業の詳細は付表6参照。
3　切置き間伐とは、間伐により伐採された樹木を搬出することなく、林内に据え置き土留めや肥料に利用すること。
4　利用間伐とは、間伐により伐採された木材を搬出し、その用途に応じて利活用すること。

③　豊田市予算に関わる間伐事業の実績

予算不足により間伐の実施が滞ることがないように、国・県・（公財）矢作川水源基金による各種財源、補助メニューを効果的に活用して、間伐を強力に実施しています。

当年度の市事業による間伐面積の合計は、303.63haで、前年度の実績307.63haと比較して4.00ha減少しました。

〈豊田市間伐事業　事業別内訳（令和5年度）〉　（単位：ha・千円）

事業名		事業量	事業費	財源内訳			
				国・県補助金	市費	矢作川水源基金	所有者負担金
間伐促進	市単独	79.41	42,970	–	38,811	–	4,159
	水道水源	86.08	42,998	–	42,997	–	1
	国県補助（市上乗せ）	4.64	6,941	1,787	989	–	4,165
矢作川水源基金水源林対策		90.36	43,317	–	24,132	16,182	3,003
水源環境保全林整備		19.31	13,224	–	13,224	–	–
水道水源特別区域森づくり		23.83	18,914	–	18,914	–	–
合計		303.63	168,364	1,787	139,067	16,182	11,328

2　持続可能な森づくりに向けた仕組みの整備

（1）　目指す森林の姿の再検討

①　ゾーニングと目標林型の再設定

新・森づくり構想では、森林法第10条の5第1項の規定に基づく豊田市森林整備計画とは別に、立地条件に応じてゾーニングを行い、目指すべき森林の姿（目標林型）に誘導することとしていますが、集約化や間伐の実際の状況とは乖離しており、実行性に課題があります。

そこで当年度は、ゾーニングや目標林型の必要性等を検討するプロジェクトチームを設置し、実現可能性の観点から議論を進めました。令和6年度以降は、令和10年度に予定している森づくり構想の改正に向けて素案を作成し、森づくり委員会や専門家などと協議していきます。

②　目標林型に向けた誘導手法の検討

人工林の間伐が森林の土砂災害防止機能や水源かん養機能などの公益的機能に与える影響に関しては、科学的なデータが乏しく、経験的推論の域を出ていません。このため本市では、間伐モニタリング調査と水源かん養機能モニタリング研究の2種類のモニタリングを実施しています。

これらのデータは、適宜、専門家を交えた検討会を実施し、森づくりの方針や施策に反映させています。

ア　間伐モニタリング調査

人工林の間伐が下層植生や樹木の成長プロセスに与える影響について調べるため、間伐率や間伐手法が異なる調査区を市有林内75か所に設置し、3グループに分けて3年ごとに植生調査と林分調査を実施しています。

開始から16年目にあたる当年度は、第1グループの24か所で、5回目の調査を実施しました。その結果、前年度に実施した第3グループの調査と同様に、間伐後の林冠閉鎖が進み、下層植生の植被率が頭打ちとなる傾向が見られました。

〈調査年表〉

設定年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
H20 (第1ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目		
H21 (第2ｸﾞﾙｰﾌﾟ)		○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目	
H22 (第3ｸﾞﾙｰﾌﾟ)			○ 伐採前			○ 1回目			○ 2回目			○ 3回目

設定年度	R2	R3	R4	R5
H20 (第1ｸﾞﾙｰﾌﾟ)	○ 4回目			○ 5回目
H21 (第2ｸﾞﾙｰﾌﾟ)		○ 4回目		
H22 (第3ｸﾞﾙｰﾌﾟ)			○ 4回目	

イ　水源かん養機能モニタリング研究

人工林の間伐が森林の水の動きに与える影響を調べるため、市有林内に試験地を設置し、東京大学と協力して、間伐前後の水量や水質などの変化を調査しています。開始から9年目となる当年度は、例年同様に、気象・水量・水質・土砂量などの各種観測データの蓄積を行いました。

〈研究概要〉

年度	調査地	
	大洞市有林	御内市有林
試験流域	切置き間伐流域（A-1） 対照流域　（A-2）	皆伐流域　（M-1） 利用間伐流域（M-2） 皆伐流域　（M-3） 対照流域　（M-4）
観測項目	①気象　②流量 ③樹幹遮断量 ④表面流出量 ⑤土砂流出量　⑥水質	①気象　②流量 ③土砂流出量 ④水質
H27	調査開始	－
H28	↓	調査開始
H29	↓	↓
H30	切置き間伐 （表面流プロット内）	↓
R1	切置き間伐 （間伐区域全体）	↓
R2	切置き間伐 （樹幹遮断プロット内）	↓
R3	↓	↓
R4	↓	利用間伐・皆伐
R5	↓	↓

〈樹幹流量の観測〉

〈流出量の観測〉

（2）森林管理の在り方の検討

①　所有森林に関するアンケート

森林を取り巻く環境は大きく変化しており、その一つに森林所有者の高齢化や代替わりなどによる森林管理に対する意識や意欲の低下が挙げられます。森林所有者からの「森林の管理ができない」、「森林を処分したい・寄付したい」といった相談はここ数年で急増しています。

森林の管理主体である森林所有者の意識や意欲は今後ますます低下するとみられることから、本市では、新たな森林の管理手法の検討に向けて、森林所有者の実態を把握するため、豊田森林組合の組合員を対象に、「所有する森林に関するアンケート調査」を実施しました。

URL:https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/056/976/01.pdf

〈アンケート二次元コード〉

②　森の相談窓口

第4次計画の策定に関して、地域会議に対する諮問を行ったところ、下山地域会議から「森林所有者の困りごとをワンストップで相談できる窓口の設置」についての答申を受けました。

この答申とアンケート結果を踏まえ、森林所有者の意欲や意識の低下への対応策のひとつとして、森林所有者が、相続や管理方法などの困りごとについてワンストップで相談できる「森の相談窓口」を愛知県豊田加茂農林水産事務所、豊田森林組合、本市の連携により試行的に開設しました。

〈開催場所と実施状況（令和５年度）〉　（単位：件・人）

開催場所	実施日	相談件数	人数
豊田市役所　下山支所	R6.3.6	12	14
豊田市役所　稲武支所	R6.3.13	6	9

3　森林情報基盤の整備

（1）森林に関する情報の一元化

森林の現況や境界等の森林に関する情報については、県が作成する森林簿と森林計画図、法務局備え付けの地籍図、地形図、航空写真など様々な主体と媒体で管理されていますが、本市では、平成19年度に市独自の森林GISを導入して、これらを一元的に管理し、団地化業務や提案型施業の効率化を図っています。また、森林計画図や地籍図は、現況と乖離していることが多いため、団地化業務によって新たに得られる森林境界等のデータを整備し、森林現況データの精度を高めています（付表7参照）。

（2）森林の現況把握

市内全域の森林の現況（樹種や立木密度等）を客観的に評価するため、平成27年度から平成28年度にかけて航空写真解析を実施しています。当年度は、次回の森林の現況把握に向けて、より効果的な手法を模索するため、航空レーザや衛星写真、UAVレーザによる解析などの費用対効果（精度と価格）の検証を進めました。

II　木材の循環利用を進める森づくり [基本理念 2]

1　経済と保全のバランスが取れた木材の生産

（1）利用間伐適地での施業の促進

森林の持つ公益的機能に配慮した利用間伐を促進するための利用間伐適地の設定については、その必要性を含めて一から整理しているところです。

一方、利用間伐や皆伐等の林業活動に適さない場所や、急傾斜地等の山地災害の危険性が高い箇所については、森林の持つ公益的機能の維持に十分に配慮した施業が必要となります。そのための最低限のルールとして、皆伐と路網開設を対象に「豊田市森林保全ガイドライン（以下「ガイドライン」という。）」を平成30年度に策定しています。このガイドラインでは、特に、5haを超える皆伐については伐採区域の分散を推奨しています。

当年度は林業目的での皆伐の伐採届が計13件提出されました。このうち現地確認を4件（計7.53ha程度）実施し、ガイドラインに適合した施業となるよう申請者と協議しました。

〈ガイドラインに基づく現地確認実績（令和5年度）〉　（単位：件･ha）

皆伐面積	件数	合計面積
1ha	2	0.87
1ha 以上 5ha 未満	1	1.34
5ha 以上	1	5.32
合計	4	7.53

（2）林地保全を考慮した作業システムの構築

急傾斜地が多い本市においては、これまでの車両系集材では搬出路開設における環境負荷が大きく、また、旧来の架線系集材は環境負荷が少ない一方で架設コストが大きいため、経済と保全のバランスがとれた木材生産が可能な木材の搬出手段が必要です。

当年度は、新たな作業システムとして、豊田森林組合が自走式タワーヤーダを導入し、本市はその費用の一部を補助しました。タワーヤーダを用いた架線集材は、搬出路を作ることによる環境負荷が小さく、また架設コストも小さいため、新たな作業システムとして効果を発揮することが期待されます。

〈高性能林業機械の各種補助事業（令和5年度）〉　（単位：千円）

事業名	内容	補助金額	対象機種	林業事業体
高性能林業機械導入事業	新規購入	32,620	タワーヤーダ　1台	豊田森林組合
高性能林業機械施業促進事業	リース	1,763	プロセッサ　2台 フォワーダ　1台	豊田森林組合
	レンタル	524	－	豊田森林組合

注　年度別の値は付表8,9参照。

2　効率的な林業用路網の管理と整備

（1）林道の効率的な維持管理

近年の人件費や資材費の高騰、大雨による被害の増加等によって、増加傾向にある基幹路網である林道及び林業専用道（以下「林道」）の維持管理費を抑えるため、路線別に優先度をつけて維持管理を効率化するとともに、排水施設を中心とした林道施設の機能維持による林道の被害軽減に取り組んでいます。

①　優先度に応じた基幹路網の維持管理

基幹路網である林道の維持管理を効率化するため、林道沿線における木材生産の実施状況などに応じて、路線別に管理区分を設定しました（当年度：管理区分設定率74%）。

②　施設監視型の維持管理

大雨等による林道被害を抑制するため、林道の維持管理体制を壊れたら修繕する「事後保全型」から、排水施設を定期点検する「施設監視型」に移行しました。

当年度は林道パトロール委託において全排水施設を点検し、土砂等の堆積により機能が低下していた排水施設の清掃を実施しました。

（2）作業道を中心とした効率的な路網整備

林業用路網の整備・維持コストの縮減を図るため、林業経営体等による作業道を中心とした細部路網の整備を推進しています。

当年度は、（公財）矢作川水源基金の補助事業により、豊田森林組合が作業道1,533mを開設しました（付表10参照）。また、本市の補助事業により、豊田森林組合が37,963m（付表11参照）、森林所有者が2,178m（付表12参照）、全体で40,141mの搬出路を整備しました。

3　地域材の流通と利用促進

（1）原木流通量の増加と安定化

本市は、森林資源の有効活用と利用間伐による森林整備の推進を目的として、平成30年度に中核製材工場を誘致しました。

当年度は、製材品の需要の落ち込み等により、中核製材工場における原木取扱量は37,565㎥となり、前年度実績40,970㎥と比較して、3,405㎥の減少となりました。また、市内からの中核製材工場への原木供給量は29,260㎥と、前年度実績25,502㎥と比較して、3,758㎥の増加となり、近年の市内からの原木供給量は比較的安定的な数量で推移しています（付表13参照）。

〈地域材の生産・流通・利用の達成状況（令和5年度）〉

指　標	実　績（A）	目　標（B） 上段：2027年度 下段：2032年度	達成率（A/B） 上段：2027年度 下段：2032年度
市内からの中核製材工場への原木供給量（m^3）	29,260	28,800	102%
		28,800	102%
中核製材工場における原木取扱量（m^3）	37,565	45,000	83%
		45,000	83%

注　達成率の小数点以下は四捨五入。

（2）地域材の利用促進

①　地域材の供給体制の強化

SDGsやカーボンニュートラルへの関心の高まりから、企業や自治体などを中心に地域材など身近な森林資源の活用が注目されています。日本の縮図と言われる本市においても脱炭素社会の実現には身近な森林資源である豊田市産材の利用促進は必要と考えています。

このため、本市では、平成30年3月に設立した地域材のコーディネート組織である（一社）ウッディーラー豊田を中心に、豊田市産材の認知向上と市内流通を促進しています。

当年度は、豊田市産材の調達や豊田市産材を使った製品の購入等114件の相談があり、協力企業との連携による材料供給や商品開発を行いました。また、森林や木材の学びとなる森林ツアーやワークショップ、講座の実施により、豊田市産材の利活用に関する普及啓発を行いました。

〈（一社）ウッディーラー豊田の所在地及び構成員（令和5年度）〉

所在地		豊田市東広瀬町高根下24-1（豊田市森林会館）
役員	代表理事	樋口　真明
	理事	鈴木　禎一（八幡製材）伊藤　秀和（西垣林業㈱）川合　寿人（豊田森林組合） 水嶋　淳　（水嶋建設㈱）湯川　修平（㈱ゆの字） 杉本　憲彦（豊田市産業部農林振興室森林課）
	監事	山﨑　真理子（名古屋大学）

〈（一社）ウッディーラー豊田と連携して参加・出展したイベント（令和5年度）〉

イベント名	開催日	会場	活動内容
SAKURA WINE FESTIVAL	4月 1日	鶴舞公園	フードプレートの提供
アロマメイキング講座	5月10日	豊田市自然観察の森	ワークショップ
My 下駄づくり	6月25日	豊田市森林会館	ワークショップ
アロマフレグランスづくり	7月 9日 8月12日	豊田市森林会館	ワークショップ
松坂屋名古屋店 「地球にやさしいさくらパンダおせち」植樹祭	7月24日	御内市有林	植樹体験
シロフォンづくり	8月 6日 9月 3日	豊田市森林会館	ワークショップ
時計づくり	8月16日 9月30日 2月 2日	豊田市森林会館	ワークショップ
KULACAL MARKET	9月 9日	豊田市駅東口 まちなか広場	製品展示・販売
森の撮影会2023	10月14日 ～15日	御内市有林	プロ写真家による撮影講座
森 Thank You （とよた森づくり月間イベント）	10月24日 ～31日	T-FACE 連絡通路	間伐体験ジオラマ、森づくりに関する企業 PR、製品販売、 ワークショップ
第5回京都インターナショナル・ギフト・ショー2024	3月6日 ～7日	京都市勧業館 「みやこめっせ」	製品展示
KULACAL MARKET	3月25日	鞍ケ池公園	製品展示・販売
ZIP-FM Podcast WOOD CAST ひらりと森の木漏れ話	年間を通じて 毎週木曜配信	–	ラジオ出演

② 地域材の見せる化

ア テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金

テナント店舗等における地域材を活用した木質化に対して、経費の一部を補助し、情報発信することで、地域材の活用促進と市民への見える化を図りました。当年度は10店舗に補助を行いました。

〈補助金支出店舗一覧（令和５年度）〉

店名	所在地	業態	使用箇所
gra tir INABU	桑原町	足湯カフェ	内装、ウッドデッキ
和来茶屋	御所貝津町	和カフェ	内装、外装
荒井町区民会館	荒井町	区民会館	階段
はっぴーバウム	四郷町	バウムクーヘンショップ	エントランス構造材
デイサービスよっといでん	西山町	介護施設	ウッドデッキ
胡麻家～柴犬～	御蔵町	陶芸教室	床材
いちゃりばちょーでー	小畑町	沖縄料理屋	床材、壁
小鳩屋	足助町	民泊	フローリング
UNIBO	若宮町	ｅスポーツカフェ	家具・什器
おやつ処ぽんこつ	喜多町	軽食	看板・腰壁

〈小鳩屋〉

〈UNIBO〉

イ　建築物等における地域材の利用

公共建築物については、平成24年度に「豊田市公共建築物等の木材利用の促進に関する基本方針」を策定し、コストや利便性等を考慮したうえで最大限地域材が活用されるような検討方法が定着してきました（付表14、付表15参照）。

世界的なカーボンニュートラルへの意識の高まりや、また、木材利用に関する法律や建築基準法など国産材活用を促す法改正など地域材を取り巻く環境は大きく変化しており、市内においては中核製材工場の誘致やウッディーラー豊田の設立によって、豊田市産材の市内流通体制も安定化しつつあります。

こうした背景から令和5年12月には前述の方針を「豊田市建築物等における木材利用の促進に関する基本方針」に改正しました。改正においては、脱炭素社会の実現を目的に掲げ、「見える部分に積極的に利用する」方針とし、矢作川流域を視野に新たに「流域産材」を新たに定義しました。今後は、地域産材がより使われやすい環境を整え、公共建築物に限らず民間建築物や家具・備品への木材利用を促進していきます。

III 地域づくりと一体となった森づくり [基本理念 3]

1　山村振興と森づくりとの融合

（1）地域づくりにおける森林の活用

本市では、人工林の健全化に向けて間伐を効率的に実施するため、大字単位で地域森づくり会議を設立し、私有林人工林の集約化（森づくり団地方式）を進めています。

その過程において森林所有者は、境界確認や団地計画の作成には関わっていますが、森づくり団地計画樹立により、森林管理を森林組合に委託することにより、所有林への管理意識が薄くなる傾向があります。さらに、森林管理は長期に及ぶため、団地計画樹立後に世代交代した場合は、主体的に所有林を確認する機会がほとんどないのが実情です。

そこで、地域が主体となった地域づくりの中で、森林の管理や活用をしていくモデル事業を旭地区の押井地域森づくり会議で実施しました。モデル事業では、地域と話し合いを重ね、地域がやりたいことや本市で応援できることを探り、当年度からあいち森と緑づくり税を活用した里山林整備を実施しています。

なお、足助地区においても事業を計画中であり、集落で日陰になってしまう山林の整備や間伐材の活用などを目標に掲げ、地域との話し合いを重ねています。

（2）森林資源を活用した地域産業の振興

森林資源を活用した産業は、林業や林産業、キノコなどの特用林産業が代表的ですが、これらは年々衰退傾向にあります。一方、キャンプ場や林道を活用したトレイルランなど、森林空間を活用した「森林サービス産業」が近年注目されています。

当年度は森林課内のプロジェクトにおいて、本市が森林サービス産業に関する情報収集や創出の可能性について、検討を行いました。

Ⅳ　人材育成と共働による森づくり [基本理念 4]

1　森づくり人材の確保・育成

（1）森林作業員の確保・育成

①「緑の雇用」事業等の活用

「緑の雇用」事業は、林業労働力の確保や働きがいをもって定着できる就労環境の整備を目的に、新規就業者に対して講習や研修を行い、キャリアアップを支援する林野庁の事業です。市内林業経営体は本事業を積極的に活用しており、当年度は2人の研修生を受け入れ、平成15年度から現在までに計142人を受け入れています（付表16参照）。

②　新規就業者育成支援

令和2年度から、豊田森林組合に新規採用された林業従事者の育成を目的に、本市は「新規育成推進事業補助金」において高卒採用者による林業大学校等への就学及び資格取得に必要な費用の一部を補助しています。これまでに6人が本事業によって林業大学校等を卒業しており、当年度も6名が本事業を利用して就学しています（付表17参照）。

③　森林作業員基礎技術研修

令和4年度から、林業大学校等を卒業した森林作業現場の安全性の向上とそれによる作業員の定着を目的とした「森林作業員基礎技術研修」を実施しています。具体的には、経験の浅い森林作業員に対して、チェーンソーの目立て等の基礎から伐倒練習機を活用した演習と森林作業員として必要な知識を身につけるための座学を繰り返し行い、基礎技術の習得を目指すものであり、当年度は計16回実施しました。

また、豊田森林組合以外の林業経営体向けに、伐倒練習機を活用した基礎技術演習を見学・体験してもらうイベントを実施し、市内外から18人が参加しました。

（2）森づくりを推進する人材の確保・育成

①　森づくり団地化推進員

森づくり団地化を安定的に推進するとともに、地域の雇用創出を目的として、平成21年度から豊田森林組合が雇用する「森づくり団地化推進員」（緑のコーディネーター）に対して、人件費の一部を補助しており、当年度は9人分の補助をしました（付表18参照）。

②　市における専門職員の配置

森づくり構想を実現するためには、市の果たす役割も大きいことから、その担い手となるプロフェッショナルな人材は不可欠となります。

当年度の森林課においては、森林・林業に関する専門教育を受けた職員は、3人在籍しており、そのほかに森林総合監理士（フォレスター）に登録された職員が1人在籍しています。

2　森づくりへの市民理解の醸成

（1）森林環境教育等の普及啓発活動のさらなる推進

森づくりに関わる人材や関心を持つ人を増やすために、目的や対象別に森林環境教育や普及啓発事業を実施しています。

①　とよた森林学校・とよたモリジャム

平成18年度に設立した「とよた森林学校」は、本市の森林普及事業の柱として18年目を迎え、人材育成コース3講座/延べ12回（付表19参照）、森の応援団コース6講座/延べ15回（付表20参照）を実施しました。加えて、間伐ボランティア初級講座の受講者を対象にしたフォローアップ講座を3回開催しました。

とよた森林学校は、令和2年度から3年度の森林普及検討会議等による議論を受け、令和4年度から5年度においては、「豊田森林組合への委託」、「（一社）おいでん・さんそんへの委託」、「おいでん・さんそんとよた森林学校運営委員会への補助事業」の3つの運営体制に分割して実施しました。加えて、森林に馴染みの薄い市民層を対象にした「とよたモリジャム」を新設し、普及啓発を行いました。

当年度は、これらを実施した結果、事務局が複数となって事業管理に混乱が生じ、とよた森林学校の目的や理念が不明確化するなど新たな課題に直面したため、大幅な見直しを行いました。

この結果、とよた森林学校は目的や理念を再整理した上で令和6年度から新体制で実施することとしました。また、とよたモリジャムと森林環境教育活動事業補助金は当年度で廃止し、その一方で森林に馴染みの薄い市民を対象にした普及啓発事業として、10月の森づくり月間にイベント「森 Thank You」を新たに実施しました。

ア　とよた森林学校の実績

〈講座概要（令和5年度）〉

人材育成コース　（単位：回･人）

講座名	回数	参加者数
森林観察リーダー入門講座	6	12
間伐ボランティア初級講座	3	18
多様な間伐理論を学ぼう！	3	11
合計	12	41

フォローアップ講座　（単位：回･人）

講座名	回数	参加者数
間伐ボランティア フォローアップ講座	3	12
合計	3	12

森の応援団コース　（単位：回･人）

講座名	回数	参加者数
森林入門セミナー	3	16
森林と災害	2	10
楽しい森林ウオーキング	3	17
夏休み昆虫観察会	2	13
身近な樹木調べ	3	19
地域の森･健康診断	2	24
合計	15	99

イ　とよたモリジャムの実績

〈講座概要（令和5年度）〉　（単位：回･人）

講座名	参加者数
森ヨガ＆ウォーキング	14
木で薫るアロマメイキング	11
家族で楽しむキャンプのススメ	19
昆虫っておいしいの！？	17
木製マイスプーン作り	13
親子で遊べる！どんぐり集め	10
山を持ったら知っておきたいこと5選	21
合計	105

〈森ヨガ＆ウォーキング〉

ウ　森林環境教育活動事業補助金

森林環境教育の講座等を主催する団体への補助として、当年度は、2団体に交付しました。

②　森林出前講座の開催

本市の森づくりについて理解・関心のある方を増やすため、学校や企業などの団体に対し、講師を派遣する森林出前講座を実施しました。当年度の開催日数は25回、受講者数は延べ493人でした（付表21参照）。

③「とよた森づくりの日」と「とよた森づくり月間」における普及啓発活動

豊田市森づくり条例において、10月26日を「とよた森づくりの日」、10月を「とよた森づくり月間」と定めています。当年度は、森から市民へ感謝を伝えるイベント「森 Thank You」を新たに企画しました。当イベントは、10月24日から31日の8日間、T-FACE6階の連絡通路において開催し、間伐作業を疑似体験できる体験型ジオラマの展示や動画放映、市内の森林で活動する企業・市民団体の5団体の活動PRブースの展示等を行い、約5,500人が来場しました。

また、森づくり月間をPRするため、豊田市役所南庁舎2階の市民ロビーでの展示や豊田スタジアム屋根外縁部のチューブライトを森林の緑色に点灯しました。

〈間伐体験型ジオラマ〉

〈南庁舎ロビー展示〉

〈豊田スタジアムライトアップ〉

④　流域学習プログラム事業の実施

本市の森林だけでなく、矢作川など流域の自然環境を学ぶ新たな教育プログラムの構築を、市環境政策課と矢作川研究所と連携して進めています。このプログラムは、市内の小学5年生で学ぶ社会科の単元「わたしたちの生活と森林」「環境を守るわたしたち」を身近な題材での学ぶもので、広く継続的に自然環境教育を実施していくことを狙いとしています。当年度は、このプログラムの校外学習を市内の小学校14校（児童：延べ715人）で実施しました。

⑤　豊田市・森の総合サイト「Tomori」の運営

令和3年度に開設した豊田市・森の総合サイト「Tomori」において、森林環境教育の講座等を主催する団体や個人に、実施講座や会報誌等の掲載を支援しています。当年度は、9団体からサイト使用の申請があり、24講座を掲載しました。また、1団体の会報誌等を掲載しました。

URL:https://tomori-toyota.net/

〈Tomori 二次元コード〉

⑥　トヨタヴェルブリッツとの共働

当年度は、本市が相互支援協定を締結しているラグビーチーム「トヨタヴェルブリッツ」との共働事業として、以下の取組を実施しました。

・「楽しく学ぼう！水のふるさと森の役割（〈公財〉矢作川水源基金主催イベント）」への選手等の参加
・「ウッドワンダーランド（愛知県主催イベント）」に参加とパネル展示
・ファンクラブ会員に配布される「イヤーブック」に過密人工林や本取組の情報を掲載
・動画「ヴェルブリッツ森づくり応援 movie」を作成し、豊田スタジアムの大型ビジョン及び YouTube で放映

URL:https://www.youtube.com/watch?v=4t3JkwRg

〈動画二次元コード〉

3　共働による森づくりの推進

（1）市民及び企業による森づくりの推進

持続的な森林管理の一環として、主体的に森づくりに取り組む森林ボランティアやNPO、企業などと連携を深め、共働による森づくりを推進しています。

①　森林ボランティア団体の活動支援

本市のある矢作川流域は、森林ボランティアの活動が盛んな地域であり、とよた森林学校の修了生などから構成されるボランティア団体が毎年のように結成され、今後も市内の活動が活発化していくことが期待されます。本市では、こうした森林ボランティアが自立の精神を持って活動できるように以下の支援を行っています。

ア　森林ボランティア始動支援事業

活動を始めるにあたっては、さまざまな道具や装備などをそろえる必要があります。本市では、新たに結成された森林ボランティア団体に対して、初動2年間に限り、資金を補助しています。当年度は、2団体に補助しました（付表22参照）。

イ　森林ボランティア安全対策事業

活動に伴う傷害保険の加入を促進するため、ボランティア保険料を補助しています。当年度は、15団体に補助しました（付表23参照）。

（2）企業・団体の森づくりのフィールド支援

森林ボランティアの自主活動や企業の社会貢献活動を促進するため、市有林等の一部を活動フィールドとして提供しています。

当年度は、5つの団体と森林管理に関する協定を結んだ上で、大洞市有林、稽古屋市有林、保全区域緑地（宮前町）、めぐみの森市有林を提供しました。

第2章　その他の業務

Ⅰ 森林法に係る各種業務

1 伐採及び伐採後の造林の届出書の受理

森林法第10条の8第1項の規定に基づき、森林の伐採を行う者からの届出188件を受理しました。令和4年度に本市が行った地方分権改革に関する提案により森林法が改正され、令和6年1月から「電線路の維持に伴う伐採の届出書の提出が不要」となりました。その結果、当年度の届出書の件数は、令和4年度と比較して102件減少しました（付表24参照）。

〈伐採及び伐採後の造林の届出の件数と面積〉

項　目		件数	面積(ha)
主　伐		110	34.48
	うち転用	36	6.98
間　伐		78	565.36
合　計		188	599.84

2 森林の土地の所有者届出書の受理

森林法第10条の7の2第1項に基づき、売買や相続などによる新たな所有者からの届出186件を受理しました（付表25参照）。

Ⅱ 森林課所管の土地・建物の管理

1 豊田市森林会館の管理

豊田市森林会館の利用実績は24件336人でした（付表26参照）。また、利用者のニーズに応え、木材の端材、蚊取り線香、キノコ菌の販売を行いました。

2 市有林の管理

「市有林ゾーニング・活用計画」に基づき、以下のとおり森林整備を行いました(付表 27、付表 28 参照)。

〈市有林別の作業実績（令和 5 年度)〉　（単位：ha･千円･㎥）

市有林	作業区分	施業面積	事業費		素　材　生　産		備考
				うち国･県補助金	搬出量	販売額	
御内	植林	0.74	1,287	－	－	－	水かんモニ調査地内
勘八	切置き間伐	12.56	8,164	－	－	－	－
合計		13.30	9,451	－	－	－	－

III 「とよた森づくり委員会」の開催

とよた森づくり委員会（以下「森づくり委員会」）は、森づくり構想や基本計画について協議する委員会として平成17年度に発足し、平成19年度に策定した豊田市森づくり条例に位置付けられています。当年度は以下のとおり開催しました。

〈森づくり委員会委員（15人）/オブザーバー（2人）〉

役 職	氏　　名	所　　属　　等
委 員	赤堀 楠雄	林材ライター
	臼田 寿生	岐阜県森林研究所 森林資源部 主任専門研究員
	岡本 透	（国研）森林総合研究所 関西支所 グループ長
	片桐 正博	豊田森林組合 代表理事組合長
	國友 淳子	トヨタ自動車（株） 社会貢献推進部 プログラム推進室 室長
	蔵治 光一郎	東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
	鈴木 辰吉	森林所有者
	富永 英明	あさひ製材 代表
	新津 裕	岐阜県立森林文化アカデミー 講師
	西垣 貴文	西垣林業（株） 取締役副社長
	樋口 真明	（一社）ウッディーラー豊田 代表理事
	藤富 勝行	公募委員
	古橋 真人	（一財）古橋会 常務理事
	水嶋 淳	水嶋建設（株） 代表取締役社長
	横井 秀一	造林技術研究所 代表
オブザーバー	水谷 豊一	愛知県豊田加茂農林水産事務所 林務課長
	川合 寿人	豊田森林組合 参事

注 委員は令和6年3月31日現在。

〈森づくり委員会の開催状況（令和5年度）〉

開催日	場　所	内　　容
7月3日	市役所環境センター 環51会議室	・令和4年度事業実績、令和5年度当初予算概要 ・森林資源の活用に関する課題（大径材） ・人工林率が低い地域の人工林整備の必要性 ・公費を投じた間伐に関する課題 ・ゾーニングと目標林型
10月27日	木瀬市有林、 月原市有林、 森林会館 会議室	・現地視察 ・委任状交付、新任委員の紹介 ・会長、副会長の選出 ・健全な人工林の評価指標 ・とよた森づくり月間のイベント観察
3月12日	市役所南庁舎 南51会議室	・新たな森林管理の在り方 ・ゾーニングと目標林型の再設定 ・間伐候補地集約化の推進 ・市公共建築物等の木材利用の促進に関する基本方針の改正 ・森づくり月間イベントの開催報告

IV　広報業務

1　講演、視察受入等の森づくり推進活動

　森づくりに関する条例・構想・基本計画の策定や本市の独自施策に対して、各方面から講演や視察等の依頼がありました。

〈講演等の概要（令和5年度）〉

開催日	主催・イベント等名称	テーマ
7月12日	令和5年度岐阜県地域 森林監理士養成研修	「新・豊田市100年の森づくり構想」 市の森づくりの施策について
7月27日	栃木県議会 農林環境委員会視察	「豊田市の森づくりと地域材利用」 （一社）ウッディーラー豊田・寺部小学校見学
8月23日	森林　林業　木材・住宅 産業諸問題研究会研修	「豊田市の森づくりと地域材利用」
8月23日	令和5年度みえ森林・林業アカデミー 市町職員講座	「新・豊田市100年の森づくり構想」 市の森づくりの施策および今後の展望について
11月11日	伊賀林業研究会　研修	「新・豊田市100年の森づくり構想」 森づくり会議・団地による集約化について
11月12日	ダービーシャー公式訪問団視察	「日本の森林・豊田の森林」 山神祭（御内市有林）見学
3月14日	令和5年度豊田市森づくり成果報告会	当年度実施した事業の成果報告

〈印刷物等の概要（令和5年度）〉

掲載日	印刷物等の名称	タイトル等	発行者
4月	『林野』 フォレスター（森林総合監理士）の 活動書記	森づくりを実直に！ －地域に入り、現場を重視する、 豊田市の集約化－	林野庁
3月	『森林技術』 リレー掲載　チェンブレ！	豊田市による森林作業員の育成について	(一社)日本森林技術協会

〈テレビ番組等の放映の概要（令和5年度）〉

放映日	番組タイトル	放映概要
10月16日	豊田市政番組「とよた NOW」特集	豊かな森を将来へつなごう 10月は「とよた森づくり月間」
10月25日	豊田市政番組「とよた NOW」	イベント「森　Thank You」を開催
3月7日	豊田市政番組「とよた NOW」	「森の相談窓口」を試行的に開設
3月18日	豊田市政番組「とよた NOW」	令和5年度版　豊田市森づくり成果報告会

2　森林環境譲与税を活用した取組

災害防止や温室効果ガスの削減につながる森林整備に必要な財源を確保する目的から森林環境税・森林環境贈与税が国で創設されました。森林環境譲与税については、令和元年度から配分されており、当年度においては以下のとおり活用しました。

〈森林環境譲与税を活用した取組（令和５年度）〉　（単位：円）

活用区分	事業名	内容	実績	事業費	うち譲与税充当額
森林整備	水源環境保全林整備事業	個人所有の人工林（水源環境保全林）の切置き間伐	間伐面積 19.31ha	14,802,618	14,802,618
	間伐促進事業	個人所有の人工林の切置き間伐等に対する補助	間伐面積 74.31ha	39,800,000	36,040,000
	高性能林業機械導入費補助金	高性能林業機械の新規導入に係る経費に対する補助	タワーヤーダ １台導入	32,620,000	32,620,000
	森づくり推進組織育成事業	個人所有の人工林を間伐するためにとりまとめを行う（森づくり団地化）組織に対する交付金	団地認定面積 1,121.20ha	22,424,000	22,424,000
	モニタリング調査事業	間伐効果の検証や効果的な間伐手法を検討するための調査の実施	24か所	4,015,000	4,015,000
人材育成	森づくり担い手育成支援事業	森林の境界確認や測量を行う森づくり団地化推進員の雇用等に対する補助	森づくり団地化推進員　9人	24,038,000	13,604,382
	新規就業者育成推進事業	豊田森林組合の森林作業員の新規採用と育成に対する補助	新規就業者 6人	18,438,000	17,838,000
	人材育成事業	豊田森林組合が実施する森林作業員の基礎技術研修に対する負担金	森林作業員9人に対し、計16回開催	2,000,000	2,000,000
	林業安全対策用設備導入事業補助金	林業安全対策用設備（伐倒練習機等）の導入に対する補助	伐倒練習機 １台導入	458,000	458,000
木材利用	テナント店舗等木質化モデル創出事業	地域材を活用した店舗等の木質化に対する補助	10件	12,122,000	12,122,000
	管理備品整備事業（小学校）	小学校における地域材の机・椅子の導入	(新規)机：458台 椅子：550脚 (修繕)机：415台 椅子：612脚	14,831,817	3,920,000
	管理備品整備事業（中学校）	中学校における地域材の机・椅子の導入	(新規)机：434台 椅子：482脚 (修繕)机：745台 椅子：425脚	15,455,385	4,080,000
合計				201,004,820	163,924,000

第3章　決算

歳入　　（単位：千円）

項　目	R5	R4	差
(1)　森林環境譲与税	163,924	163,924	0
(2)　林業費負担金	375	220	155
(3)　林業使用料	66	220	△154
(4)　林業費補助金	165,524	144,740	20,784
(5)　林業費委託金	88,649	83,491	5,158
(6)　土地建物貸付収入	13,576	13,587	△11
(7)　利子及び配当金	721	491	230
(8)　物品売払収入	66	－	66
(9)　生産物売払収入	－	9,495	△9,495
(10)　農林水産事業費寄附金	1,000	－	1,000
(11)　基金繰入金	－	－	－
(12)　雑　入	29,556	29,575	△19
合計	463,457	445,743	17,714

歳出　　（単位：千円）

項　目	R5	R4	差
(1)　林業振興事務費	11,312	12,493	△1,181
(2)　市有林管理費	12,514	24,212	△11,698
(3)　林業労働力対策費	42,934	42,852	82
(4)　矢作川水源林対策費	60,396	40,486	19,910
(5)　森林会館費	14,110	14,000	110
(6)　林道開設費	37,105	23,110	13,995
(7)　林道舗装費	68,947	108,763	△39,816
(8)　林道改良費	149,767	88,883	60,884
(9)　林道修繕費	62,788	42,043	20,745
(10)　水源環境林整備費	14,803	26,798	△11,995
(11)　森林整備市民活動費	733	720	13
(12)　間伐材搬出利用促進費	39,188	52,485	△13,297
(13)　間伐促進事業費	39,800	45,952	△6,152
(14)　高性能林業機械施業促進費	34,907	4,806	30,101
(15)　森づくり推進費	106,955	105,522	1,433
(16)　とよた森林学校費	－	－	－
(17)　林道維持管理費	48,305	44,051	4,254
(18)　人件費	296	293	3
(19)　林道整備調査費	1,458	6,754	△5,296
(20)　林道橋りょう維持管理費	15,785	11,550	4,235
(21)　地域材利用拡大推進費	19,295	21,871	△2,576
(22)　森林環境教育推進費	14,435	11,391	3,044
計	795,833	729,035	66,798
(23)　林道施設現年災害復旧事業費	109,796	21,129	88,667
(24)　林業施設過年災害復旧事業費	－	－	－
計	109,796	21,129	88,667
(25)　水道水源保全費	71,904	78,686	△6,782
計	71,904	78,686	△6,782
合計	977,533	828,850	148,683

参考

Ⅰ　豊田市における森林・林業の現況

1　豊田市の森林の現状（令和５年度）

〈豊田市の森林位置図〉

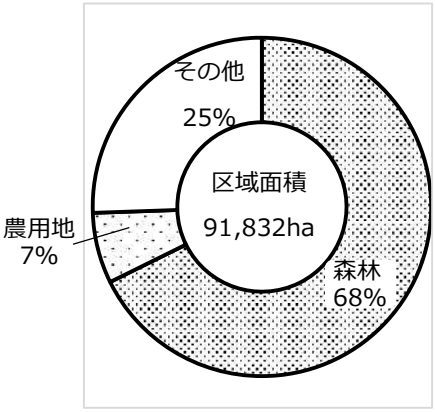
〈豊田市の土地利用別面積〉　(単位：ha)

区分		面積
区域		91,832
森林	総数	62,165
	国有林	1,236
	民有林	60,930
農用地		6,190
その他		23,477

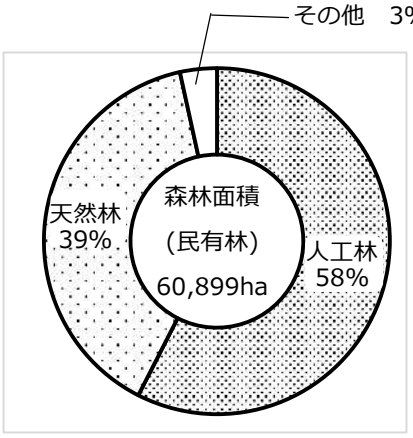
資料：愛知県林務課

注　ha 未満は四捨五入。従って内訳と計は必ずしも一致しない。

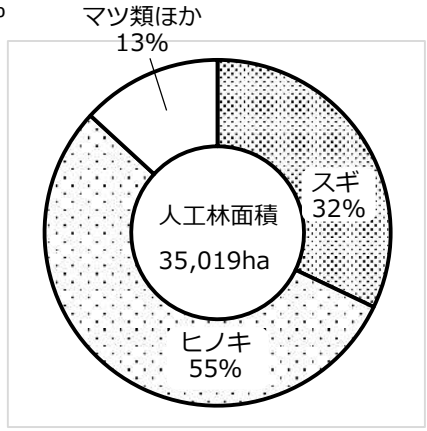
〈豊田市の森林率〉



〈豊田市の人工林率（民有林）〉



〈人工林の樹種別割合〉



注　豊田市の人工林率、樹種別割合は地域森林計画対象民有林の値。　　資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域毎の森林率と人工林率〉　（単位：ha・%）

	区域面積 A	森林面積 B	森林率 B/A×100	森林のうち人工林 C	人工林率 C/B×100
豊田市	91,832	62,174	68	–	–
うち民有林	–	60,931	–	35,020	57
うち地域森林計画対象民有林	–	60,900	–	35,014	57
豊田	29,011	9,782	34	2,746	28
藤岡	6,558	4,662	71	1,673	36
小原	7,454	5,515	74	2,425	44
足助	19,312	16,180	84	9,840	61
下山	11,418	9,530	83	7,041	74
旭	8,216	6,687	81	4,648	70
稲武	9,863	8,544	87	6,646	78

資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域森林計画対象民有林における林種別面積及び蓄積〉　（単位: ha・m^3・m^3/年）

		面積	蓄積	成長量
立木地	人工林	35,018	10,843,658	108,611
	天然林	23,788	3,217,283	11,405
竹林		1,139		
無立木地		955		
合計		60,899	14,060,941	120,016

資料：愛知県林務課

〈豊田市の地域森林計画対象民有林の人工林における林種別面積及び蓄積〉　（単位: ha・m^3・m^3/年）

		面積	蓄積	成長量
針葉樹	スギ	11,229	5,034,626	48,129
	ヒノキ	19,186	4,877,835	54,403
	マツ類	4,370	893,498	5,719
	その他	86	22,019	225
広葉樹		148	15,680	135
合計		35,019	10,843,658	108,611

資料：愛知県林務課

2　木材価格の変化と木材生産量

〈豊田市内木材生産量〉　　（単位：m^3）

年	市内木材生産量	うち豊田森林組合の取扱量	うち利用間伐の取扱量
H17	23,700	13,811	11,049
H18	24,300	14,689	8,000
H19	23,218	16,495	12,899
H20	28,900	17,660	14,035
H21	29,400	18,553	14,535
H22	33,390	18,969	16,121
H23	32,484	21,141	15,988
H24	37,399	18,704	14,700
H25	33,818	22,962	18,403
H26	39,390	26,305	19,096
H27	48,316	27,764	21,146
H28	44,827	22,392	16,006
H29	38,259	23,712	20,235
H30	51,188	33,299	27,978
R1	54,129	33,925	31,804
R2	66,438	31,532	30,954
R3	66,150	33,126	30,581
R4	52,881	32,647	30,836
R5	集計中	39,561	35,488

注　市内木材生産量は年次数値、それ以外は年度数値。　　資料：愛知県林務課及び豊田森林組合

〈豊田原木流通センターの木材取扱量と平均単価〉　　（単位：m^3・円/m^3）

年度	スギ		ヒノキ		スギ+ヒノキ+その他樹種	
	木材取扱量	平均単価	木材取扱量	平均単価	木材取扱量	平均単価
H17	3,268	10,030	4,254	19,981	8,086	15,886
H18	4,228	10,300	6,588	20,590	11,154	16,458
H19	6,437	9,192	6,220	19,087	13,037	13,713
H20	5,889	9,193	7,494	17,862	13,643	13,974
H21	6,872	9,171	6,903	15,337	14,115	12,453
H22	8,179	9,856	8,559	15,379	15,726	13,513
H23	6,769	8,290	7,601	12,806	16,738	12,680
H24	7,942	10,420	7,496	16,981	15,083	10,422
H25	5,344	9,492	7,986	15,736	14,167	12,403
H26	5,527	10,060	6,769	14,568	12,583	12,314
H27	4,529	9,052	7,295	13,423	12,309	11,492
H28	4,517	9,729	3,792	11,900	8,608	10,570
H29	2,250	9,764	5,551	12,529	9,868	10,473
H30	7,451	10,578	8,223	13,125	20,257	10,578
R1	12,843	9,963	10,596	12,203	30,475	9,807
R2	12,340	8,998	11,566	10,713	33,604	8,512
R3	10,853	12,063	10,250	17,758	30,405	12,217
R4	9,745	13,363	11,068	17,825	29,812	13,104
R5	11,230	12,553	10,092	14,682	33,483	–

資料：愛知県森林組合連合会及び豊田森林組合

Ⅱ　森づくりの担い手「豊田森林組合」の現状

1　組織

〈組合員の状況〉　（単位：人）

年度	正組合員	准組合員	合計
H17	8,623	6	8,629
H18	8,618	6	8,624
H19	8,620	6	8,626
H20	8,623	6	8,629
H21	8,614	6	8,620
H22	8,555	6	8,561
H23	8,545	8	8,553
H24	8,539	8	8,547
H25	8,536	8	8,544
H26	8,526	8	8,534
H27	8,494	8	8,502
H28	8,463	8	8,471
H29	8,445	8	8,453
H30	8,415	8	8,423
R1	8,392	13	8,405
R2	8,364	16	8,380
R3	8,333	16	8,349
R4	8,289	18	8,307
R5	8,229	18	8,247

〈常勤の役職員数〉　（単位：人）

年度	常勤役員数	常勤職員数
H17	2	52
H18	2	52
H19	2	51
H20	2	48
H21	1	50
H22	1	50
H23	1	51
H24	1	51
H25	1	46
H26	1	49
H27	2	51
H28	2	52
H29	2	50
H30	2	45
R1	2	44
R2	2	87
R3	1	91
R4	1	92
R5	1	91

注　森林作業員の職員化(R2～）。

資料：豊田森林組合第19回通常総代会資料

〈豊田森林組合森林作業員の年齢別構成表〉　（単位：人）

年度	～29 歳	30～39 歳	40～59 歳	60 歳～	合計
H17					102
H18					103
H19					103
H20					102
H21					112
H22					117
H23					121
H24					112
H25					96
H26					88
H27					81
H28					75
H29					80
H30					61
R1					61
R2	4	11	31	12	58
R3	2	10	29	10	51
R4	5	9	30	8	52
R5	8	7	29	10	54

注 1　森林作業員とは、主に森林整備作業または林産事業に従事する者。
　 2　年齢構成は R2 より集計。

資料：豊田森林組合

2　事業活動

〈販売部門〉　(単位：m^3・千円 (税抜))

項　目		取扱量	売 上	項　目		取扱量	売 上
販売事業	受託	914	9,494	林産事業	受託	37,070	443,295
	買取	1,577	11,202		買取	−	−

資料：豊田森林組合第19回通常総代会資料

〈加工部門〉　(単位：千円(税抜))

項　目	取扱額	項　目	取扱額	項 目	取扱額
加工製品	39,253	チップ	−	工作物	−
杭ほか	−	賃挽き	−		

資料：豊田森林組合第19回通常総代会資料

〈森林整備部門〉　(単位：千円(税抜))

項 目		売 上
森林整備	森林整備・治山・林道・作業路等	688,951
利用事業	調査・とよた森林学校・森林整備支援交付金等	90,639
購買事業	苗木・肥料・チェーンソー等	35,163

資料：豊田森林組合第19回通常総代会資料

〈とよた森林学校・とよたモリジャム〉　(単位：千円(税抜))

項 目	委託額
とよた森林学校・とよたモリジャム 運営業務委託	9,726

Ⅲ　令和５年度の産業部森林課の組織と主な業務

森　林　課

課　長（1人）
副課長（1人）
副主幹（1人）

- 森づくり担当（6人）　会計任用　(1人)
  - 間伐促進に関すること
  - 団地化に関すること
  - あいち森と緑づくり事業に関すること
  - 矢作川水源基金助成事業に関すること
  - 水源環境保全林事業に関すること
  - 水道水源保全・特別区域事業に関すること
  - 森林環境譲与税に関すること
  - 森づくり構想･計画･市森林整備計画に関すること
  - 第4次豊田市森づくり基本計画に関すること
  - 森づくり委員会に関すること
  - 原木集荷体制に関すること（需給調整会議）
  - 森林GISの運営・管理に関すること
  - 林地台帳の運用に関すること
  - 森林経営計画の認定に関すること
  - 森林組合経営方針に関すること
  - 高性能林業機械に関すること
  - 人材育成（新規就業者）に関すること
- 保全活用担当（5人）
  - 間伐・水源かん養モニタリングに関すること
  - 市有林の管理・施業に関すること
  - （一社）ウッディーラー豊田に関すること
  - 地域材流通体制構築に関すること
  - 木質化モデル創出補助金に関すること
  - 公共建築物での地域材利用促進に関すること
  - 地域材利用の普及啓発に関すること
  - 森づくり白書に関すること
  - Tomori（総合サイト）の運用に関すること
  - 森林学校・モリジャム・出前講座に関すること
  - 森林課施設・財産管理に関すること
  - 伐採届に関すること
  - 造林検査に関すること
  - 違法伐採の指導・観察に関すること
  - 森林保全ガイドラインの運用に関すること
  - 森林ボランティアの支援に関すること
  - 林業振興会議に関すること
- 林道担当（5人）
  - 路網整備（林道・作業道）に関すること
  - 災害対応に関すること
  - 林道設計ICT化に関すること
  - 林道使用許可に関すること
  - 林道維持管理（パトロール委託）に関すること
  - 中核製材工場用地管理に関すること
  - 治山事業に関すること
  - 亜炭鉱に関すること

付　表　一　覧

付表 1　地域森づくり会議設置・団地認定状況（地区別・年度別）----------30
付表 2　森づくり団地認定状況（令和5年度）----------31
付表 3　あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）等の候補地とりまとめ状況----------32
付表 4　森林経営計画認定件数及び面積----------32
付表 5　間伐実施面積（年度別）----------33
付表 6　市間伐補助事業一覧表----------35
付表 7　年度別「豊田市森林GIS保守・運用業務」事業費----------36
付表 8　高性能林業機械導入事業----------36
付表 9　高性能林業機械施業促進事業----------37
付表10 矢作川水源林対策事業【作業道】開設事業（令和5年度豊田森林組合施工）----------37
付表11 間伐材搬出路網（令和5年度豊田森林組合施工）----------38
付表12 間伐材搬出路網（令和5年度自力施工）----------38
付表13 中核製材工場稼働実績----------39
付表14 市公共事業の地域材使用量----------39
付表15 豊田市内の主要な木材利用公共施設----------39
付表16 緑の雇用担い手対策事業に係る人材育成実績----------40
付表17 新規就業者育成支援事業に係る人材育成実績----------40
付表18 森づくり団地化推進員設置状況等----------40
付表19 人材育成コース受講者数----------41
付表20 森の応援団コース受講者数----------41
付表21 出前講座の開催----------43
付表22 森林ボランティア始動支援事業----------43
付表23 森林ボランティア安全対策事業----------43
付表24 伐採及び伐採後の造林の届出の件数と面積----------44
付表25 森林の土地の所有者届出書の件数と面積----------44
付表26 豊田市森林会館の利用件数と利用者数----------45
付表27 市有林で実施した作業の実績----------45
付表28 市有林の素材販売実績----------46
付表29 豊田市林道一覧（令和5年度）----------46
付表30 林業専用道（規格相当）開設事業（令和5年度市施工）----------47
付表31 林道開設事業（令和5年度市施工）----------47
付表32 過疎山村地域代行林道整備事業（愛知県施工）----------47
付表33 間伐材搬出路網【作業道】開設事業（令和5年度豊田森林組合施工）----------47
付表34 林業用路網の開設延長----------48
付表35 林道改良及び舗装実績----------48
付表36 林道改良事業（令和5年度市施工）----------49
付表37 林道舗装事業（令和5年度市施工）----------49
付表38 市管理林道の修繕実績----------50
付表39 市有林界確定測量業務----------51

付表 1 地域森づくり会議設置・団地認定状況（地区別・年度別）　　（単位：会議・団地・ha）

年度		豊田	小原・藤岡	足助	下山	旭	稲武	合計
H19	会議数	－	－	1	9	4	1	15
	団地数	－	－	－	－	－	－	－
	面　積	－	－	－	－	－	－	－
H20	会議数	2	2	11	7	3	2	27
	団地数	2	1	4	4	4	5	20
	面　積	16.45	7.10	43.33	82.24	48.64	110.26	308.02
H21	会議数	2	2	6	－	6	3	19
	団地数	2	2	8	18	10	8	48
	面　積	43.67	28.69	141.32	245.26	140.82	182.70	782.46
H22	会議数	－	1	2	1	3	2	9
	団地数	2	3	13	25	9	11	63
	面　積	17.06	64.90	244.71	403.16	127.32	251.02	1,108.17
H23	会議数	－	1	1	－	1	2	5
	団地数	2	2	16	13	11	13	57
	面　積	19.21	28.23	265.37	282.18	169.16	402.51	1,166.66
H24	会議数	－	1	1	－	－	3	5
	団地数	－	－	11	13	9	12	45
	面　積	－	－	198.75	320.24	208.57	345.26	1,072.82
H25	会議数	－	－	1	－	1	－	2
	団地数	1	1	15	15	12	12	56
	面　積	18.45	15.91	262.77	342.63	204.59	385.25	1,229.60
H26	会議数	－	3	2	1	2	－	8
	団地数	1	－	11	13	10	12	47
	面　積	16.25	0.13	180.42	317.89	202.85	372.79	1,090.33
H27	会議数	－	1	3	1	3	－	8
	団地数	1	3	12	9	4	13	42
	面　積	22.39	33.05	288.37	310.36	124.58	275.63	1,054.38
H28	会議数	－	1	3	1	2	－	7
	団地数	1	3	15	9	8	12	48
	面　積	12.28	51.85	334.49	367.59	166.29	313.10	1,245.60
H29	会議数	－	－	－	－	2	－	2
	団地数	－	3	16	8	11	10	48
	面　積	－	42.92	244.0	277.84	257.64	275.96	1,098.36
H30	会議数	－	1	1	－	－	－	2
	団地数	－	3	7	6	8	12	36
	面　積	－	29.98	209.41	180.54	189.41	302.79	912.13
R1	会議数	－	1	－	－	1	－	2
	団地数	－	1	9	13	11	10	44
	面　積	－	25.31	208.56	333.41	194.24	300.76	1,062.28
R2	会議数	－	－	－	－	1	－	1
	団地数	1	1	11	9	7	9	38
	面　積	17.33	15.43	292.09	321.95	144.47	313.04	1,104.31
R3	会議数	－	－	1	－	－	－	1
	団地数	1	2	6	10	6	10	35
	面　積	17.92	27.10	240.34	312.62	163.35	339.18	1,100.51
R4	会議数	－	－	－	－	1	－	1
	団地数	－	4	8	12	9	12	45
	面　積	－	62.23	221.86	332.12	180.42	311.20	1,107.83
R5	会議数	－	2	－	－	－	－	2
	団地数	－	2	10	10	6	11	39
	面　積	34.82	66.89	264.17	287.00	171.03	297.29	1,121.20
合計	会議数	4	16	33	20	30	13	116
	団地数	14	31	172	187	135	172	711
	面　積	235.83	499.72	3,639.96	4,717.03	2,693.38	4,778.74	16,564.66

付表 2 森づくり団地認定状況（令和5年度）

（単位：ha）

地区	会議名	団地名	認定面積
豊田	日明	大ケ平1	(追)23.63
		大ケ平2	(追)11.19
	計	0団地	34.82
藤岡	北一色	西ノ平・西ノ洞	(追)3.18
	計	0団地	3.18
小原	李	青木	(追)25.87
	苅萱	アイノタ・ヲンタ	21.02
	市場	神ノ木・西ケ入	16.82
	計	2団地	63.71
足助	新盛	新盛第5	16.72
		新盛第6	15.65
	大和	北小田	(追)0.08
	明川	鈴ケ田和・大平	13.44
	五反田	ジョウノコシ・シモクシゲ	(追)0.06
	四ッ松	郷敷・鍛冶ケ下	9.51
	東大見	奥山東	(追)0.38
		奥山西	(追)8.84
	下佐切	岩飛・山ノ神	8.92
		大川端・小平	2.73
	葛沢	戸板・枇杷板	(追)0.03
		神尾川・仙ノ戸	19.86
	大多賀	餅田	42.56
		八子	84.90
	連谷	石神	40.49
	計	10団地	264.17
下山	羽布	エス小屋北	21.53
	阿蔵	仏供田・沢尻・西街道	19.63
		北ノ平西	53.68
		猫取東	31.75

地区	会議名	団地名	認定面積
下山	東大林町	大林庵・長途	22.95
	梶	高儘・大畑	27.00
	田平沢	外山中	18.71
	黒坂	大入・水分上	19.30
	梨野	アライダシ中	43.35
		アライダシ東	29.10
	計	10団地	287.00
旭	田津原	西久保・前林	26.85
	榊野	万根南	45.74
	杉本	白石東	23.01
	明賀	明賀東	31.09
	余平	保尾多田・地見平	19.34
	伯母沢	伯母沢北	25.00
	計	6団地	171.03
稲武	大野瀬	城山	(追)8.82
		オオヤナ・ワゴ・ヤシロジマ	21.10
		ホラ	19.30
		ニホンギ・ワカトチ・イチノセ	27.66
		ヒロノ・ワラビ平・日カゲ	28.48
	押山	平林	24.04
		板橋・タワガネ	15.68
	野入	下ノ入	(追)7.08
		貝曲り・丸根・トヲノス・下モ平	33.14
	稲橋	月ケ平80	24.66
		月ケ平83	22.24
		井山89	43.00
	黒田	古屋貝戸	22.09
	計	11団地	297.29
合計		39団地	1,121.20

注（追）は、既設の団地に追加したもの。団地数にはカウントしない。

付表 3 あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）等の候補地とりまとめ状況　（単位：ha）

年度	あいち森と緑づくり森林整備事業（人工林）	保安林本数調整伐事業
H21	100.78	
H22	316.93	
H23	403.36	
H24	569.29	
H25	514.08	
H26	266.72	
H27	314.02	
H28	328.06	
H29	186.73	23.33
H30	193.27	16.74
R1	354.40	23.54
R2	481.72	22.33
R3	497.45	23.91
R4	382.14	20.02
R5	350.63	41.08
合計	4,908.95	129.87

付表 4 森林経営計画認定件数及び面積（単位：件･ha）

年度	件数	面積
H25	14	669.16
H26	9	305.87
H27	9	365.41
H28	10	565.78
H29	10	1532.74
H30	6	331.46
R1	7	381.49
R2	14	481.32
R3	11	417.92
R4	7	1191.99
R5	2	118.24

付表 5 間伐実施面積（年度別）

区 分			H17	H18	H19	←第1次計画期間→					
						H20	H21	H22	H23	H24	計
県事業	保安林本数調整伐		347	346	421	319	234	228	167	83	1,031
	あいち森と緑づくり					5	205	416	436	506	1,568
	計		347	346	421	324	439	644	603	589	2,599
市事業	間伐促進	国県補助 市上乗せ	418	449	403	431	456	266	113	127	1,393
		市単独	–	–	–	–	–	–	–	–	–
		水道水源林									
	矢作川水源林対策		109	215	216	197	218	157	163	139	874
	水源環境保全林		64	110	76	97	99	33	30	24	283
	巻枯らし等補助事業		–	–	–	–	–	6	6	2	14
	水道水源特別区域森づくり		–	–	–	–	–	–	–	–	–
	計		591	774	695	725	773	462	312	292	2,564
その他（国県補助 市上乗せなし）			–	10	8	6	34	21	24	91	176
その他（ボランティアなど）											
第3次基本計画対象間伐面積			938	1,130	1,124	1,055	1,246	1,127	939	971	5,339
計画対象外	市有林施業		34	20	35	108	100	56	75	65	404
	県分収林		254	151	106	87	108	179	322	44	740
	県有林		43	47	14	26	23	42	46	32	169
	計		331	218	155	221	231	277	443	141	1,313
市内間伐実績面積			1,269	1,348	1,279	1,276	1,477	1,404	1,382	1,112	6,652

注１ 間伐促進事業（国県補助 市上乗せ)は、造林事業の上乗せ補助分。（市単独）は、市一般会計で（水道水源林）は水道水源保全特別会計の市単独補助事業。

2 市有林事業に市外に所在する市有林（黒田湖畔段戸記念林及び学校部分林）の実績は含まない。

3 その他は、国県補助又は単独で実施した間伐で市の上乗せ等の補助を受けていないもの。ボランティアなど平成30年度集計から除外した。

4 ha 未満は四捨五入。従って内訳と計は必ずしも一致しない。

（単位：ha）

←第2次計画期間→						←第3次計画期間→						第4次	合計
H25	H26	H27	H28	H29	計	H30	R1	R2	R3	R4	計	R5	
97	76	79	83	76	411	39	48	39	41	34	202	48	2,807
581	391	356	431	408	2,167	414	299	381	408	372	1,873	318	5,926
677	467	435	515	484	2,578	453	347	420	449	407	2,076	366	8,733
80	119	91	118	108	516	51	36	98	9	0	194	5	3,378
25	106	49	67	0	247	208	89	132	82	91	601	79	927
		100	75	86	261	86	79	83	98	94	441	86	788
155	119	89	174	204	741	40	100	45	57	44	285	90	2,530
20	20	20	19	12	91	10	12	32	52	55	162	19	804
–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	14
–	–	–	–	–	–	–	22	30	40	23	115	24	139
280	364	348	452	410	1,854	395	338	421	337	308	1,799	303	8,580
14	10	10	13	75	122	112	136	78	156	165	648	168	1,358
23	56	51	67	(44)	197	(50)	(48)	(102)	(40)	(8)	(240)	28	
995	897	845	1,046	968	4,751	960	821	919	943	880	4,523	866	18,671
39	31	15	1	1	87	14	8	6	2	7	36	13	652
74	83	33	65	99	354	63	38	23	41	27	193	37	1,834
30	45	20	20	31	146	32	32	0	45	32	141	28	588
143	159	68	86	131	587	109	78	29	88	66	370	78	3,052
1,138	1,056	913	1,132	1,099	5,338	1,069	900	948	1,030	946	4,893	944	21,724

付表 6 市間伐補助事業一覧表

事業名	作業種	補助対象経費	間伐率	補助率
間伐促進事業 （市単独） （水道水源林） （国県補助 市上乗せ有）	切置き間伐	愛知県の定める森林造成等補助金交付要綱、造林事業実施要領及び小規模森林育成事業実施要領に準じて行う間伐実施に要する経費	30%以上	9/10以内
			団地内30 ～40% （1,000本/ha 以上から 1,000本未満となる場合）	10/10以内
			団地内40～60%	
			針広混交林誘導林 40～60%	
	利用間伐		団地内30%以上	5/10以内
	間伐材生産	愛知県の定める林業振興対策事業補助金のうち次世代林業基盤づくり事業に基づき実施する間伐材生産に要する経費	団地内30%以上	利用間伐と 同額
矢作川水源林 対策事業	除伐	(公財)矢作川水源基金が定める水源林地域対策事業業務方法書及び水源林対策事業助成金交付要領に準じて行う間伐に要する経費	10%以上	4/10以内
	切置き間伐		20～30%	6/10以内
			30%以上	9/10以内
			団地内30～40% （1,000本/ha 以上から 1,000本未満となる場合）	10/10以内
			団地内40%以上	
			針広混交林40%以上	
	利用間伐		20%以上	6/10以内

付表 7 年度別「豊田市森林GIS保守・運用業務」事業費　(単位：千円)

年度	事業費	事業内容
H19	2,993	森林GISシステムの基本設計
H20	9,765	基本システムの導入及び業務支援システムの詳細設計
H21	29,715	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの開発導入
H22	2,699	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H23	4,014	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 市町村森林整備計画の改正に係るゾーニングの資料作成
H24	4,250	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H25	3,720	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H26	3,348	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	19,440	運用環境の再構築、必要な機器・ソフトウェア調達及びプログラム調整
H27	4,129	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	17,280	森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（豊田・藤岡・小原・足助）
H28	3,672	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
	20,520	森林整備対象の人工林抽出、過密人工林の特定、森林情報の整備（旭・稲武・下山）
H29	5,512	団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
H30	6,806	林地台帳構築、団地化業務、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
R1	4,071	団地化業務、林地台帳、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新 （H30年度に愛知県が実施した航空レーザ計測成果の搭載を令和元～2年度に実施）
R2	3,549	
R3	3,630	
R4	15,950	仮想サーバー上でのリプレイス、団地化業務、林地台帳、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新
R5	2,662	団地化業務、林地台帳、林道整備業務等の業務支援システムの保守点検及びデータ更新

付表 8 高性能林業機械導入事業　(単位：千円)

年度	補助金額	対象機種	林業事業体
H23	–	–	–
H24	–	–	–
H25	–	–	–
H26	–	–	–
H27	–	–	–
H28	–	–	–
H29	–	–	–
H30	17,385	プロセッサ1台 フォワーダ1台 スイングヤーダ1台	豊田森林組合
R1	–	–	–
R2	–	–	–
R3	3,870	フェラーバンチャ	豊田森林組合
R4	13,200	プロセッサ1台 フォワーダ1台 スイングヤーダ1台	西垣林業フォレスト（株）
R5	32,620	タワーヤーダ1台	豊田森林組合

付表 9 高性能林業機械施業促進事業　　(単位：千円)

年度	リース			レンタル		補助金額合計
	補助金額	対象機種	林業事業体	補助金額	林業事業体	
H23	–	–	–	999	豊田森林組合	999
H24	–	–	–	926	豊田森林組合	926
H25	–	–	–	922	豊田森林組合	922
H26	–	–	–	507	豊田森林組合	507
H27	–	–	–	706	豊田森林組合	706
H28	–	–	–	1,055	豊田森林組合	1,055
H29	–	–	–	1,055	豊田森林組合	1,055
H30	–	–	–	1,405	豊田森林組合	1,405
R1	–	–	–	1,406	豊田森林組合	1,406
R2	–	–	–	1,456	豊田森林組合	1,456
R3	420	プロセッサ1台	豊田森林組合	516	豊田森林組合	936
R4	1,362	プロセッサ2台 フォワーダ1台	豊田森林組合	630	豊田森林組合	1,992
R5	1,763	プロセッサ2台 フォワーダ1台	豊田森林組合	524	豊田森林組合	2,287

付表 10 矢作川水源林対策事業【作業道】開設事業（令和5年度豊田森林組合施工）　　(単位：m･千円)

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	水源基金	市補助金	受益者負担
下山	大久後･峯田線	1,553	3.0	15,653	8,536	6,648	470
合計		1,553		15,653	8,536	6,648	470

注　測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まない。

付表 11 間伐材搬出路網（令和5年度豊田森林組合施工）　（単位：m･千円）

地区	路線名称	延長	事業費		
				市補助金	受益者負担
足助	玉野団地	1,437	2,156	1,437	719
	大多賀西田団地	2,915	4,373	2,915	1,458
	御内大洞団地	1,571	2,357	1,571	786
	御内加茂財産区団地	219	329	219	110
	五反田ササダ団地	1,546	2,319	1,546	773
下山	東大林細田団地	2,018	3,027	2,018	1,009
	阿蔵仏共田団地	2,646	3,969	2,646	1,323
	宇連野ウネ畑①団地	2,641	3,962	2,641	1,321
	宇連野ウネ畑②団地	2,389	3,584	2,389	1,195
	宇連野ウネ畑③団地	2,934	4,401	2,934	1,467
	羽布鬼ノ平団地	3,485	5,228	3,485	1,743
	阿蔵北ノ平団地	1,017	1,526	1,017	509
	阿蔵九市戸団地	3,114	4,671	3,114	1,557
	梨野大ブナ団地	3,292	4,938	3,292	1,646
	蘭第1団地	1,763	2,645	1,763	882
旭	太田畔高団地	901	1,352	901	451
	押井北団地	453	680	453	227
稲武	中当イナバ団地	811	1,217	811	406
	中当サカイノ沢団地	1,128	1,692	1,128	564
	押山峰山団地	151	227	151	76
	黒田東小川団地	1,532	2,298	1,532	766
合計		37,963	56,945	37,963	18,982

注1　幅員は2.5m。
　2　千円以下は切り捨て。よって事業費の合計は必ずしも一致しない。

付表 12 間伐材搬出路網（令和5年度自力施工）　（単位：m･千円）

地区	施工場所	延長	事業費		
				市補助金	受益者負担
足助	千田町地内	594	356	107	249
	千田町地内	650	390	117	273
	東大見町地内	128	77	23	54
	御内町地内	60	36	11	25
下山	大沼町地内	395	237	71	166
	梨野町地内	351	211	63	147
合計		2,178	1,307	392	915

注1　幅員は1.5m、補助率は3/10以内。
　2　千円以下は切り上げ。よって受益者負担の合計は必ずしも一致しない。

付表 13 中核製材工場稼働実績

（単位：m^3）

年度	市内からの供給量		工場の原木取扱量	
	実績値	目標値	実績値	目標値
H30	11,895	–	15,490	–
R1	22,671	19,200	31,760	30,000
R2	26,349	22,400	36,783	35,000
R3	25,075	25,600	43,764	40,000
R4	25,502	28,800	40,970	45,000
R5	29,260	28,800	37,565	45,000

付表 14 市公共事業の地域材使用量

(単位：m^3)

年度	建設用資材	建築等用材	チップ材	合計
H17	129.32	272.46	15.30	417.08
H18	193.55	89.27	165.20	448.02
H19	271.73	217.04	0.24	488.76
H20	290.73	101.29	316.29	708.21
H21	80.32	19.06	1.84	101.22
H22	145.16	89.93	93.55	328.64
H23	72.77	34.03	0.00	106.80
H24	57.91	166.85	2,278.00	2,502.76
H25	501.35	104.36	25.40	631.11

年度	建設用資材	建築等用材	チップ材	合計
H26	42.70	45.39	67.70	155.79
H27	14.28	1,073.27	32.55	1,120.10
H28	9.84	39.75	0.00	49.59
H29	51.78	166.02	164.10	381.90
H30	41.80	73.30	0.00	115.10
R1	11.51	71.71	2.00	85.23
R2	33.25	191.52	0.00	224.77
R3	3.20	28.99	0.00	281.72

資料：技術管理課

注 令和3年度をもって集計が終了。

付表 15 豊田市内の主要な木材利用公共施設

（単位：m^3）

施設名	整備年度	木材使用量	備考
寿恵野こども園	H25	448	うち豊田市産材:258
浄水中学校＆交流館	H28	315	
寺部小学校	H28	1,040	うち豊田市産材:585
寺部こども園	H28	355	うち豊田市産材:144
前林交流館	H28	325	
藤岡支所＆交流館	R1	144	うち県産材:48
子育て支援センターあいあい	R1	23	うち豊田市産材:21
南部1次救急診療所	R2	232	うち県産材:13
高嶺こども園	R2	308	うち県産材:190、うち豊田市産材:135
松平地域体育館	R3	95	
朝日中学校増築棟	R3	81	うち県産材:42
豊田地域医療センター改修	R3	58	うち県産材:36、うち豊田市産材:24
どんぐりの里いなぶ屋根付き広場	R4	50.6	うち豊田市産材：12.9
どんぐり横丁（増築）	R4	–	新規導入商品陳列棚等44台の木部に使用

資料：森林課

付表 16 緑の雇用担い手対策事業に係る人材育成実績

(単位：人)

年度	採用者数	在籍者数
H15	15	4
H16	10	3
H17	4	2
H18	6	1
H19	9	1
H20	12	2
H21	21	4
H22	10	1

年度	採用者数	在籍者数
H23	7	4
H24	3	0
H25	6	1
H26	6	4
H27	2	0
H28	4	3
H29	4	2
H30	6	2

年度	採用者数	在籍者数
R1	4	2
R2	3	2
R3	3	3
R4	5	4
R5	2	1
合計	142	46

付表 17 新規就業者育成支援事業に係る人材育成実績

(単位：人)

年度	採用者数	在籍者数
R2	3	2
R3	3	3
R4	3	3
R5	3	3

付表 18 森づくり団地化推進員設置状況等

(単位：人・円)

年度	人数	補助金額	新規就業者数[注]
H21	5	8,183	–
H22	6	9,711	1
H23	7	9,750	1
H24	7	10,786	2
H25	8	11,500	1
H26	8	11,966	3
H27	8	14,935	2
H28	8	17,971	1

年度	人数	補助金額	新規就業者数[注]
H29	8	17,971	1
H30	8	17,769	1
R1	8	17,974	–
R2	8	17,321	–
R3	8	21,623	–
R4	10	24,593	–
R5	9	24,038	–

注 団地化推進員を経て、豊田森林組合の職員又は作業員に就職した人数。

付表 19 人材育成コース受講者数

講座名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
山主森林経営講座	12	13	15	9	8	11	10	10	9	
楽しい山づくり入門講座										10
森林観察リーダー養成講座	9	11	15	15	10	9	13			
森林観察リーダー入門講座								13	10	10
森林ふれあい講座		15	9							
間伐ボランティア初級講座	20	20	20	19	18	20	20	19	20	17
多様な間伐理論を学ぼう！										
セミプロ林業作業者養成講座	10	10	7	12	12	10	10	11	12	11
間伐技術　ステップアップ講座	10	9	8	10	9					
山主自力間伐講座			9	9	18	12	12	11	12	7
合計	61	78	83	74	75	62	65	64	63	55

付表 20 森の応援団コース受講者数

講座名	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
森林セミナー	60	48	40	45	41	46	41	42	39	41
間伐してベンチをつくり寄付しよう	15	16	15	18	10	13	12	13	10	11
森林と災害										
矢作川源流の山を歩こう	25	20	20	25	20	22	21			
矢作川源流の森ウオーキング								22	19	21
原木きのこづくり(マイタケ＆ヒラタケ)	39	19	16							
原木きのこづくりⅡ	20	11	20							
楽しい森林ウオーキング										
木づかいいろいろ発見	29	18	24	20	20	20	21	21		
森あそび入門						11				
夏休み昆虫観察会	23	14	22				29	24	19	21
初めての樹木分類教室	20	49	20		27	25				
森の達人を訪ねて		23	21	20						
やってみよう！森の健康診断	20									
森林の草花調べ							22	20	22	22
森林の樹木調べ（入門コース）										
身近な樹木調べ										
初めての間伐体験				14	19	20	19	10		
レッツトライ　初めての間伐									11	
レッツトライ　木こり体験										14
山の日は木こり体験										
森づくりの日は木こり体験										
森づくりの日は森林ウオーキング										
どんぐり博士養成講座				22	22	20				
森林調査いろいろ学習会							16	18	10	
レッツトライ　森の健康診断										12
地域の森・健康診断										
森林の動物観察							20	19		
森と人の文化史									20	17
森林の不思議調べ									20	21
森が紡ぐ和のこころ										
自然の仕組み探検隊										
森づくりの基礎技術										
合計	251	218	198	164	159	177	201	189	170	180

（単位：人）

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
7	10	11	7	8	5		
10	8	13	13	13	22	11	12
12	13	18	16	20	18	18	18
						14	11
10	7	8					
10	11	12	11				
49	49	62	47	41	45	43	41

資料：とよた森林学校実施報告書

（単位：人）

H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
40	43	43	38			25	16
12							
	19	14	19	9	9	14	10
21	20	21	21	15	17		
						10	17
27	15	26	19			13	13
22							
	20	21	17				
							19
17	10	6					
8							
	15	19	17				
						19	24
21	22	22	21				
21							
	21	17					
20	22	22		18			
				18			
209	207	211	152	60	26	81	99

資料：とよた森林学校実施報告書

付表 21 出前講座の開催　(単位：団体･回･人)

年度	申込み 団体数	延べ 開催数	延べ 参加者数
H18	15	39	1,017
H19	18	35	1,054
H20	16	52	1,433
H21	20	53	1,562
H22	17	34	902
H23	20	49	1,509
H24	27	54	1,971
H25	19	37	1,321
H26	22	37	962
H27	25	38	1,193
H28	23	42	1,154
H29	24	36	922
H30	21	35	864
R1	3	4	320
R2	5	14	310
R3	7	15	553
R4	20	31	953
R5	18	25	493

付表 22 森林ボランティア始動支援事業　(単位：団体･人･円)

年度	団体数	構成員数	補助金 交付額
H17	2	35	210,467
H18	2	35	175,000
H19	3	45	200,000
H20	2	31	200,000
H21	2	34	200,000
H22	2	43	200,000
H23	2	43	200,000
H24	2	42	175,000
H25	2	36	125,000
H26	1	15	75,000
H27	1	17	75,000
H28	2	23	125,000
H29	2	19	125,000
H30	2	22	150,000
R1	2	24	150,000
R2	2	24	125,000
R3	1	14	50,000
R4	2	23	175,000
R5	2	27	175,000

付表 23 森林ボランティア安全対策事業　(単位：団体･人･円)

年度	団体数	構成員数	補助金交付額
H18	2	44	204,486
H19	7	167	462,535
H20	6	107	277,730
H21	7	127	319,490
H22	7	124	316,675
H23	8	142	348,355
H24	8	164	373,065
H25	9	154	430,710
H26	10	157	424,870
H27	13	191	548,740
H28	12	174	530,115
H29	11	175	468,345
H30	13	187	543,790
R1	12	171	498,135
R2	12	169	491,705
R3	14	211	576,365
R4	15	218	545,000
R5	15	207	558,000

注 補助率はボランティア保険料の1/2以内。

付表 24 伐採及び伐採後の造林の届出の件数と面積　（単位：件･ha）

年度	件数･面積						合計	
	主伐		うち転用		間伐		件数	面積
H17	44	11.56	106	57.81	660	729.42	704	740.98
H18	41	7.76	80	20.67	1,024	647.78	1065	655.54
H19	24	21.54	133	34.12	958	488.42	982	509.96
H20	119	98.07	63	18.92	652	611.97	771	710.04
H21	200	63.03	64	23.22	553	814.56	753	877.59
H22	235	48.16	65	22.49	557	854.06	792	902.22
H23	540	29.00	125	8.59	610	456.33	1,150	485.33
H24	1,527	169.63	1,005	133.72	179	60.91	1,706	230.54
H25	1,127	116.66	706	83.89	1,842	642.05	2,969	758.71
H26	210	41.17	73	14.72	249	560.10	459	601.27
H27	207	63.57	60	36.77	222	463.36	429	526.93
H28	243	129.60	82	68.45	250	588.49	493	718.09
H29	192	63.98	43	17.82	192	432.26	384	496.24
H30	174	48.20	47	7.68	127	599.63	301	647.83
R1	264	69.90	69	12.49	139	573.90	403	643.80
R2	234	56.77	36	4.93	101	587.68	335	644.45
R3	175	60.07	45	7.14	88	546.93	263	607.00
R4	188	46.31	51	8.64	102	592.74	290	639.05
R5	110	34.48	36	6.98	78	565.36	188	599.84

付表 25 森林の土地の所有者届出書の件数と面積　（単位：件･ha）

年度	合計	
	件数	面積
H26	76	119.22
H27	95	84.79
H28	112	102.78
H29	115	88.20
H30	129	316.01
R1	142	159.87
R2	152	394.93
R3	180	333.26
R4	156	195.64
R5	186	215.07

付表 26 豊田市森林会館の利用件数と利用者数　　(単位：件・人)

年度／項目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
利用件数	32	55	66	33	50	38	42	59	43	37	23	25	23	24
利用者数	1,207	1,320	1,766	1,161	1,355	1,054	983	962	763	1,104	417	545	285	336

付表 27 市有林で実施した作業の実績　　(単位：箇所・ha・千円)

年度	面積	事業費	うち国県補助金	間伐			皆伐	支障木伐採	備考
				切置き	利用	巻枯らし			
H17	38.43	15,635	206	34.79	3.64	–	–	–	
H18	59.01	45,676	4,241	27.69	31.32	–	–	–	
H19	37.30	31,877	10,328	16.58	16.04	3.32	1.17	0.19	
H20	91.98	44,222	4,673	44.21	43.13	4.55	–	0.09	
H21	102.03	36,222	7,141	79.16	19.38	1.98	1.51	–	
H22	59.05	24,543	5,011	43.65	13.66	–	1.74	–	
H23	75.23	31,474	19,081	61.61	13.62	–	–	–	
H24	69.52	28,635	6,724	51.20	18.32	–	–	–	
H25	38.81	11,484	1,568	33.00	5.81	–	–	–	
H26	30.86	12,296	–	30.22	0.64	–	–	–	
H27	17.40	3,863	–	15.40	–	–	–	2.00	
H28	1.03	2,106	–	1.03	–	–	–	–	一部支障木伐採含む
H29	0.60	421	–	–	0.60	–	–	–	
H30	13.68	16,447	–	4.30	9.38	–	–	–	
R1	8.00	11,800	–	1.06	6.94	–	–	–	支障木伐採を除く
R2	5.83	6,741	–	–	5.83	–	–	–	
R3	1.70	1,201	–	1.70	–	–	–	–	
R4	7.38	16,020	–	5.44	1.23	–	0.74	–	
R5	12.56	8,164	–	12.56	–	–	–	–	

注　竹林整備を除く

付表 28 市有林の素材販売実績

（単位：千円･m^3）

年度	販売額	販売材積	皆伐	間伐	支障木
H17	5,068	330	–	209	120
H18	38,423	2,590	–	2,232	206
H19	27,664	2,173	268	1,787	118
H20	33,525	2,862	–	2,862	–
H21	19,520	1,634	405	1,319	–
H22	27,417	1,776	414	1,362	–
H23	19,144	1,601	–	1,601	–
H24	15,524	1,592	–	1,592	–
H25	1,679	167	–	167	–
H26	557	65	–	65	–
H27	–	–	–	–	–
H28	112	38	–	–	38
H29	485	46	–	46	–
H30	14,217	1,220	–	1,220	–
R1	9,297	715	–	715	–
R2	5,575	506	–	506	–
R3	–	–	–	–	–
R4	9,495	801	499	302	–
R5	–	–	–	–	–

付表 29 豊田市林道一覧（令和5年度）

（単位：路線･m）

地区名	管理者	路線数	延 長	舗装路線数	舗装延長
豊田	市	19	31,523	14	28,286
	組合	3	1,684	–	–
	県	–	–	–	–
	計	22	33,207	14	28,286
藤岡	市	18	21,722	11	14,544
	組合	–	–	–	–
	県	1	1,833	1	1,833
	計	19	23,555	12	16,377
小原	市	23	38,539	20	35,019
	組合	–	–	–	–
	県	–	–	–	–
	計	23	38,539	20	35,019
足助	市	42	75,414	27	47,305
	組合	–	–	–	–
	県	3	11,987	1	3,287
	計	45	87,401	28	50,592
下山	市	53	122,480	39	77,841
	組合	–	–	–	–
	県	–	–	–	–
	計	53	122,480	39	77,841
旭	市	29	49,895	12	29,941
	組合	–	–	–	–
	県	1	1,919	–	–
	計	30	51,814	12	29,941
稲武	市	48	101,060	33	61,672
	組合	4	5,600	2	440
	県	–	–	–	–
	計	52	106,660	35	62,112
合計	市	232	440,633	156	294,608
	組合	7	7,284	2	440
	県	5	15,739	2	5,120
	計	244	463,656	160	300,168

付表 30 林業専用道(規格相当)開設事業（令和5年度市施工）

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	国･県補助金	市費	受益者負担
–	–	–	–	–	–	–	–

付表 31 林道開設事業（令和5年度市施工） （単位：m･%･千円）

地区	路線名称	延長	幅員	延長			R5 事業費	県 補助金	市費	受益者 負 担
				R5	開設済	進捗率				
稲武	野入立野線	1,013	4.0	0	880	87	37,105	24,600	12,130	375
合計							37,105	24,600	12,130	375

付表 32 過疎山村地域代行林道整備事業（愛知県施工） （単位：m･%）

年度	下山	稲武	計
	田平沢平瀬線	河上瀬柏洞線	
～H19	–	6,046	6,046
H20	–	445	445
H21	–	447	447
H22	–	415	415
H23	–	–	–
H24	–	303	303
H25	–	331	331
H26	–	464	464
H27	–	395	395
H28	813	–	813

年度	下山	稲武	計
	田平沢平瀬線	河上瀬柏洞線	
H29	168	–	168
H30	311	72	383
R1	404	80	484
R2	19	34	53
R3	398	59	457
R4	413	–	413
R5	464	120	584
延長計	2,990	9,211	
計画	10,600	9,800	
進捗率	28	94	

付表 33 間伐材搬出路網【作業道】開設事業（令和5年度豊田森林組合施工） (単位：m･千円)

地区	路線名称	延長	幅員	事業費	市補助金	受益者負担
–	–	–	–	–	–	–

注 測量設計費は別途補助(千円/m)。事業費には含まない。

付表 34 林業用路網の開設延長

（単位：km）

年度	林 道	林業専用道	作業道				搬出路			合 計
			単市作業道	水源基金	あいち森と緑づくり事業	計	私有林	市有林	計	
H17	3.44	–	0.88	2.31	–	3.19	1.20	–	1.20	7.83
H18	3.92	–	0.52	2.71	–	3.23	2.90	–	2.90	10.05
H19	3.03	–	0.00	2.58	–	2.58	2.68	2.39	5.07	10.68
H20	3.33	–	2.41	3.12	–	5.53	9.80	2.82	12.62	21.48
H21	2.09	–	2.42	2.50	–	4.92	11.49	2.82	14.22	21.23
H22	2.57	–	3.71	3.38	–	7.09	12.08	3.01	15.09	24.75
H23	1.07	–	3.96	2.52	1.24	7.72	10.30	2.33	12.63	21.42
H24	0.89	2.38	2.40	2.96	–	5.36	10.93	1.15	12.08	20.71
H25	0.90	0.78	1.97	2.60	–	4.57	8.97	0.75	9.72	15.97
H26	0.97	2.32	2.07	2.33	–	4.40	14.72	0.24	14.96	22.65
H27	0.57	0.77	1.99	2.42	–	4.42	20.73	–	20.73	26.49
H28	0.98	–	1.17	2.16	–	3.33	27.28	–	27.28	31.59
H29	0.11	1.33	1.45	2.20	–	3.69	34.52	–	34.52	39.65
H30	0.38	–	1.49	2.85	–	4.34	37.83	1.55	39.38	44.10
R1	0.59	1.04	0.77	2.68	–	3.45	38.15	1.76	39.91	44.99
R2	0.09	0.18	0.52	3.12	–	3.64	34.91	1.50	36.41	40.32
R3	0.49	–	0.65	1.38	–	2.52	40.66	–	40.66	43.18
R4	0.41	–	1.16	1.78	–	2.94	38.00	–	38.00	41.35
R5	0.58	–	–	1.55	–	1.55	40.14	–	40.14	42.27

注 単市作業道は、H17～H19は造林事業、H20からは間伐材搬出路網開設事業の作業道開設事業。

付表 35 林道改良及び舗装実績

（単位：m）

年度	改良	舗装
H17	757	5,931
H18	870	5,140
H19	708	5,666
H20	770	6,198
H21	1,436	4,659
H22	877	4,304
H23	816	1,900

年度	改良	舗装
H24	303	1,647
H25	808	1,780
H26	1,227	1,429
H27	467	2,552
H28	316	3,884
H29	1,472	2,939
H30	1,281	3,091

年度	改良	舗装
R1	940	3,007
R2	657	4,240
R3	487	3,135
R4	853	3,469
R5	1,422	1,925

付表 36 林道改良事業（令和5年度市施工）　　（単位：m･千円）

地区	路線名称	延長	主な工種	事業費	県補助金	市費
藤岡	戸越西市野々線	53	路肩法面改良	18,865	12,560	6,305
足助	臼木2号線	189	法面改良	30,821	20,480	10,341
	奥山線ほか1路線	12	橋りょう修繕	15,290	8,700	6,590
下山	野原根山線	670	路面改良	15,021	8,700	6,321
	和合黒坂支線	113	法面改良	10,167	6,000	4,167
稲武	小川線	129	排水施設改良	18,613	10,800	7,813
	名倉道線	109	法面改良	19,916	11,880	8,036
	横川入日影線	147	法面改良	16,821	10,080	6,741
合計		1,422		145,514	89,200	56,314

付表 37 林道舗装事業（令和5年度市施工）　　（単位：m･%･千円）

地区	路線名称 延長と幅員	延長	舗装済延長	進捗率	事業費	県補助金	市費
下山	明外線 L2,400×W4.0	425	435	18	10,536	6,800	3,736
	尾根線 L4,372×W4.0	920	3,342	76	33,739	22,000	11,739
	エス小屋2号線 L1,216×W4.0	140	166	14	4,516	2,940	1,576
稲武	大見山線 L3,999×W4.0	440	1,887	47	20,156	12,000	8,156
合計		1,925			68,947	43,740	25,207

注　令和5年度にて、明外線及びエス小屋2号線の林道舗装事業は完了。

付表 38 市管理林道の修繕実績　　(単位：路線･箇所･千円)

年度	路線数	延べ箇所数	事業費	主な修繕内容
H22	100	145	53,437	崩土撤去4件　路肩保護9件　法面補修5件 路面補修16件　排水処理6件　施設設置93件
H23	88	121	38,661	崩土撤去14件　路肩･法面修繕20件　路面補修25件 排水処理8件　施設設置47件　支障物除去5件
H24	58	88	32,421	崩土撤去2件　路肩修繕12件　法面補修4件 路面補修20件　擁壁修繕1件　施設設置38件 排水処理11件
H25	87	126	61,776	崩土撤去等23件　路肩修繕31件　法面補修8件 路面補修36件　施設設置20件　排水施設8件
H26	49	69	47,094	崩土撤去等5件　路肩修繕15件　法面補修11件 路面補修16件　施設設置16件　排水施設6件
H27	35	40	29,482	崩土撤去等13件　路面補修16件　法面補修4件 排水施設7件
H28	32	89	22,044	崩土撤去等28件　路肩修繕14件　法面補修13件 路面補修30件　排水施設4件
H29	32	66	24,788	路肩修繕15件　法面補修12件　路面補修28件 安全施設1件　排水施設10件
H30	110	162	70,635	崩土撤去29件　路肩修繕41件　法面補修13件 路面補修25件　排水施設5件　安全施設1件 倒木撤去47件
R1	73	76	59,681	崩土撤去10件　路肩修繕23件　法面補修15件 路面補修28件　排水施設16件　安全施設5件 倒木撤去9件
R2	75	113	125,303	崩土撤去22件　倒木撤去8件　法面･路肩等修繕83件
R3	45	90	57,604	崩土撤去4件　倒木撤去10件　排水施設浚渫(しゅんせつ)3件 法面･路肩等修繕73件
R4	84	158	65,848	崩土撤去13件　倒木撤去18件　排水施設浚渫(しゅんせつ)7件 法面･路肩等修繕120件
R5	115	196	177,952	崩土撤去19か所　倒木撤去17か所　排水施設浚渫2か所 法面･路肩等修繕158か所

付表 39　市有林界確定測量業務　　（単位：m^2・件・千円）

年度	市有林名	台帳面積	実測面積	立会件数	事業費
H18	二タ瀬	183,971	334,718	18	9,135
H19	黒坂②	305,690	278,697	17	10,080
	田螺池②	59,680	59,413	22	
H20	大洞	529,160	601,864	25	16,275
H21	大多賀	465,578	542,300	11	13,125
H22	長坂	113,327	357,739	26	11,340
	御蔵	74,019	176,209	24	5,985
H23	奥山	300,395	535,248	17	5,454
H24	月原	685,800	691,770	14	17,315
	石楠	33,242	33,242	17	
H25	三ツ足	437,118	437,089	–	10,215
	桑原	4,545	11,098	4	
H26	四ツ松	170,669	375,482	7	10,282
	中之御所	47,742	76,540	28	3,913
H27	総山	85,701	299,370	20	13,780
	チソ	117,764	114,771	20	
H28	上川口	69,297	143,045	4	7,636
	稽古屋	9,369	28,561	3	
H29	木瀬	148,000	145,525	9	9,093
	小滝野	44,500	27,995	5	
H30	東大見	104,878	116,300	11	6,199
R1	西市野々	63,175	63,558	13	4,935
R2	–	–	–	–	–
R3	–	–	–	–	–
R4	–	–	–	–	–
R5	–	–	–	–	–

令和５年度版　豊田市森づくり白書

令和6年12月

発行者　　豊田市

編　集　　豊田市 産業部 農林振興室 森林課

〒444-2424
愛知県豊田市足助町宮ノ後19-5
（豊田市足助支所北庁舎）

ＴＥＬ：　0565-62-0602
ＦＡＸ：　0565-62-0612
E-mail:　shinrin@city.toyota.aichi.jp